

※説明会配布時から一部編集しております。

資料 1

通電火災について



板橋区地域防災支援課

火災が起きると、必ず消防で火災の原因について調査をしています。

過去の地震では・・・

阪神・淡路大震災 約6割

東日本大震災 約5～7割

が電気関係の火災



通電火災とは・・・

地震や台風等の自然災害の影響により、停電から電気が復旧することによって発生する火災



首都直下地震がきたときの板橋区内の停電率は、約6パーセント(板橋区の世帯数で計算すると約2万世帯)のお宅が停電することになります。



大きな地震が起きると、安全のため発電所が止まったり、揺れの影響で電柱や電線が破損して電気が送れなくなったりして停電が起きます。

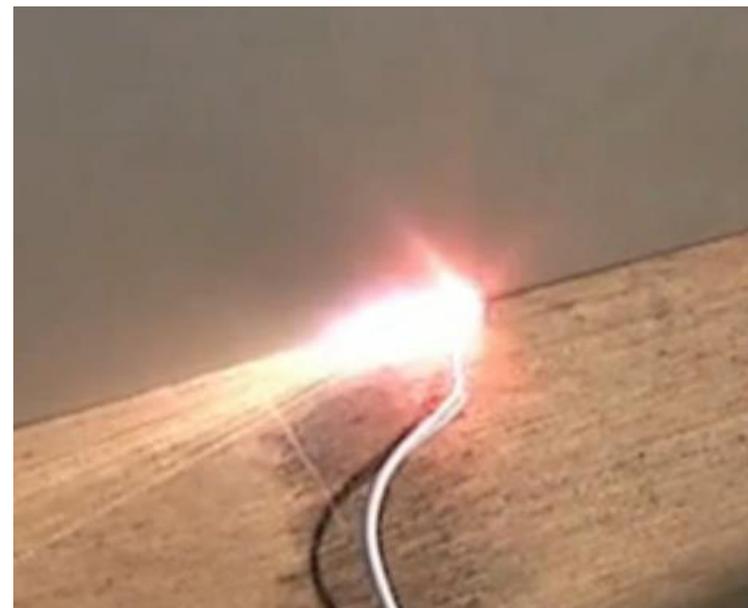
通電火災の原因 その1

復電したときに、
散らかった室内で
電気ストーブや
照明器具から
近くの可燃物に着火



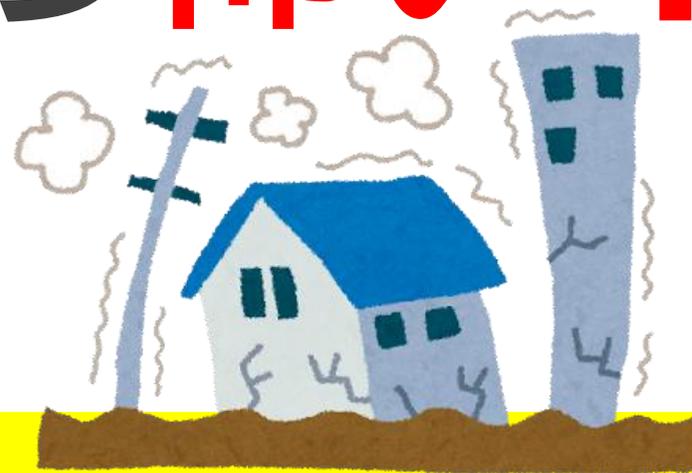
通電火災の原因 その2

冷蔵庫などが倒れて
コードが下敷きに

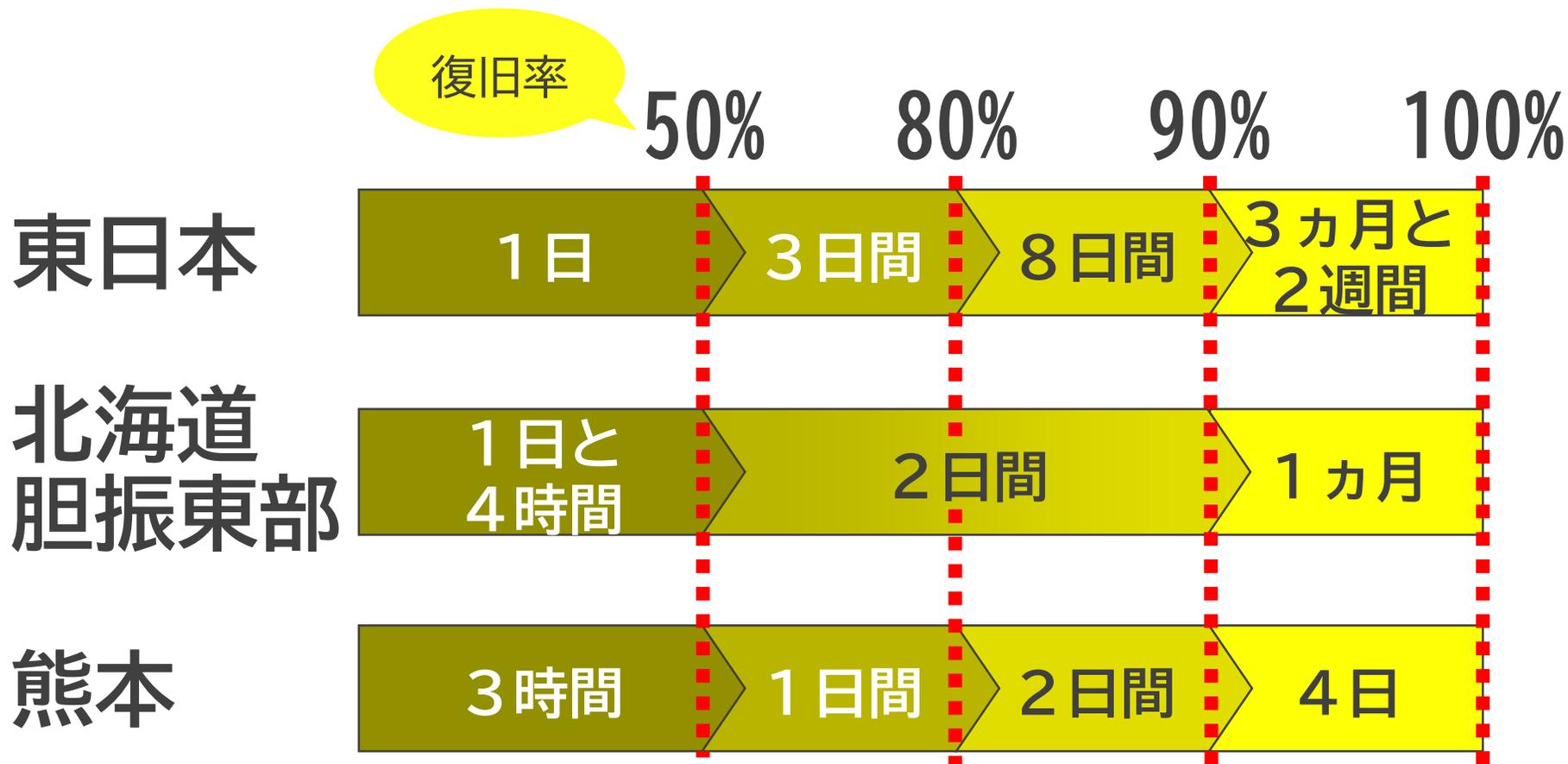


復電したときに
損傷した部分から出火

通電火災は
人がいないときに
起きるから怖い!!



過去の地震で 電力復旧にかかった日数

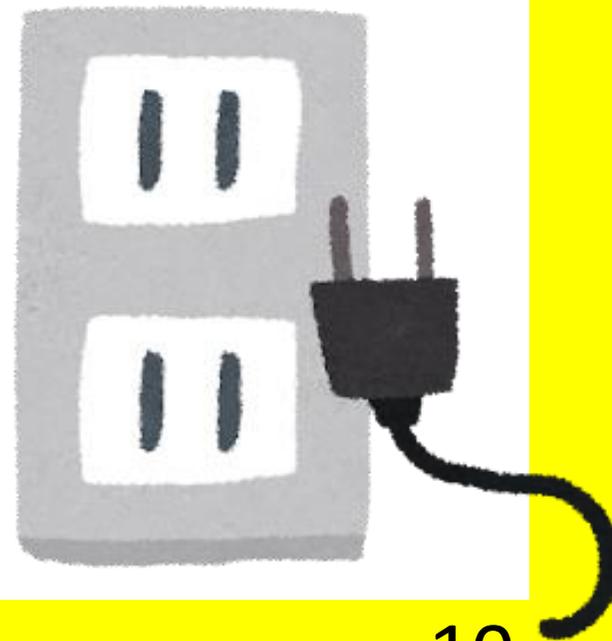


通電火災を
防ぐには？

停電中に自宅から離れる際は
ブレーカーを落とす。



停電中は、
電気機器のスイッチを切り、
電源プラグを
コンセントから**抜く**。



ブレーカーを
上げるときは？

ブレーカーを上げる前に

①周辺にガス漏れがないか

②電気機器の電源プラグは
すべて抜けているか

ガスの臭いやコンセントの異常があれば
復旧させずに専門業者に相談してください。

ブレーカーを上げるときは 万が一の出火に備えて 消火器を用意する。

何か**異常※**を感じたら
すぐにブレーカーを落として
消防機関や専門業者へ連絡・相談
※焦げ臭いにおい、煙、異音など



このほかにも、災害に対して備えておくべきことはたくさんあります。

カタログと一緒に入っていた水色の冊子が対策をまとめたガイドブックですので、お帰りになったら何度でも読み込んでいただき、いざというときのために備えていただきければと思います。

